

歯は口より、 ものを言い!?

小池デンタル
クリニック発



週刊朝日MOOK
いい歯医者 2014
—当クリニックが選ばれています—

歯医者に行こうと思ったとき、どうやって歯医者を選んでいきますか？

多くの人は「いい歯医者」に通いたいと思うことでしょう。

では、どんな歯医者が「いい歯医者」でしょうか？

そんな悩みを持っている人に向けて出版されているのがこういった書籍になります。同様の書籍でも、地方の小さな出版社やフリーペーパーなどでは、歯科医院側がお金を支払うことで雑誌に歯科医院の名前や記事が掲載されている場合がよく見られます。

この『週刊朝日MOOK いい歯医者 2014』ではいい歯医者として日本全国の専門医を1,640医院取り上げています。ここで選ばれた歯科医院はお金を支払って掲載されているのではなく、出版社からの依頼があり掲載されています。参考までに、現在の日本の歯科医師の数は約10万人、歯科診療所は約68,000軒あり、その中から選出されたものが上記の

1,640軒です。ですから、純粋に専門医のいる医院を選出しているだけなので、歯科医院選びの参考としてはいいのではないかと思います。

福山市では8人の専門医の先生が掲載されていますが、そのうち〈虫歯などで歯が欠けたり失われたりした場合〉の専門医は4人になります。ここに当クリニックが含まれているということです。

この〈虫歯などで歯が欠けたり失われたりした場合〉の専門医は補綴(ほてつ)の専門医と言いますが、一般の人は“補綴(ほてつ)”という言葉聞いたことがない人が多いと思います。

銀歯や白い歯などの被せ物、ブリッジ、入れ歯、インプラントの治療など、人工物で補う治療がこの補綴になりますから、一般的な歯科では補綴ができなければ治療を行えません。ですから、どの医院でも補綴治療をしています。ただ、専門医の先生ではないだけで…。

一般的に例えれば、子どもが病気になったとき、小児科の専門医でなくても、医者なら皆、治療を行うことはできますよね(子どもを内科の先生に診てもらうなどを想像するとわかりやすいかもしれません)。けれど、子どもの治療を専門の先生に診てもらいたいと思ったとき、小児科を探して行きますよね。同じように〈虫歯などで歯が欠けたり失われたりした場合〉に、銀歯や白い歯などの被せ物、ブリッジ、入れ歯、インプラントなどで専門の先生に治療して欲しい場合は、補綴の専門医を探していけば、より専門的な治療を受けられる可能性が高まりますよ、ということです。歯科で言えば、一般歯科では無理だと言われたことが可能な場合もあると思いますし(「ブリッジはできないので入れ歯で」と言われた場合など)、せっかく白い歯にするときなども専門医の先生に治療してもらった方がいいと思いませんか？もちろん、専門医以外にもいい歯医者はいますが、日本でも有数の大きな学会で、ちゃんと審査を受け、条件を満たせた人が専門医の資格を与えられているので、**専門医であることは歯医者選びの指標の一つ**にはなると思います。医者を選ぶときと同じようなものなのですが、歯医者は専門医が少ないですから今まで知らなかった人もいるかと思えます。

今回の『週刊朝日MOOK いい歯医者 2014』では、「専門医の存在を知っても、どこに専門医のいる歯医者があるの?」といった疑問に答えられるよう、冒頭に述べたように全国の専門医の医師を1,640医院取り上げています。

この時期、転勤や、卒業～入学or社会人などで他県へ引越される方も多いかと思えます。新しい場所でどここの歯医者に行けばいいのか悩んだとき、『週刊朝日MOOK いい歯医者 2014』を手にとって、専門医一覧から探されてみてはいかがでしょうか？

院長 小池秀行

歯学博士 日本補綴歯科学会専門医

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯(義歯)、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とし、学会で認められた歯科医師です。

社団法人日本補綴歯科学会 <http://www.hotetsu.com/p1.html>

週刊朝日MOOK 全国の専門医がわかる!
歯科医院選びの決定版

いい歯医者

長生きできる
歯科治療のすべて

2014
[完全保存版]

むし歯/歯周病/入れ歯
ブリッジ/インプラント/矯正
親知らず/顎関節症…

専門医がいる
歯科医院
1640

現場4名
歯を治したら
寝たきりから甦った!
失敗しない
歯科医院選び10カ条
プロが教える
歯ブラシの選び方